



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

# 瀬戸ロータリークラブ会報

2021年4月21日発行 第2790号

## 本日のプログラム

2021年4月21日(水)  
通算第2967回例会  
本年度第34回  
WEB例会  
例会次第

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・報告事項

## 前回例会記録

2021年4月14日 第2966回例会  
WAB例会

- ・出席報告 53名中 37名  
出席率 69.81 %
- ・卓話  
次年度会長 鈴木政成君  
「次年度会長方針」

## 例会予定

.....4月28日(水).....  
休会  
.....5月5日(水).....  
休会



2月中旬以降、新型コロナウイルス感染者が急増しています。家族間、友人・知人からの感染が特に多く増えています。密着していても症状がないことがあるので、気づかぬうちに周りに感染を広げてしまうことがあります。自分自身だけでなく、大切な家族、友人を感染から守るため、感染症対策の徹底をお願いします。

23.3人 < 24.3人  
名古屋市 瀬戸市

10万人当たりの発生頻度は名古屋市より高くなっています



マスク着用・換気の徹底！  
3密の回避！に心掛けてください。



米山奨学生のオリエンテーション  
次年度の奨学生 戴琳(タイリン)さん

## 第2966回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆様こんにちはは本日は瀬戸ロータリー第2966回例会であります。ウェブの例会とさせていただきます。4月は母子の健康月間です。これはグローバル補助金の6つの重点分野の1つの項目であります。このお話をさせていただきます。

今、日本では5歳未満になくなる子供は、よほどの大病か不慮の事故以外考えられません。しかし世界では1年間に5歳未満でなくなる子供は590万人いると言われていいます。その原因は貧困から来る食料不足、栄養不足や適度な医療が受けられないために病気や感染症による死亡、テロによる死亡等があります。又日本では病院、産婦人科、助産院等の専門家の立会いでお産をしますが、発展途上国ではいまだに専門家のいない状態で自宅出産が行われております。これが死亡の原因にもなっています。このような現状に対して我々ロータリーは食料、栄養補給の支給、医師看護師の派遣、移動クリニック、出産キットの支給等の支援事業を行っています。かつては日本も今のように母子の死亡率が低かったわけではありません。江戸明治大正昭和の戦前の頃までは結構死

亡率が高かったのです。有名な歴史的事実として江戸時代の将軍、お殿様はたくさんの側室を抱え多く子供が産まれました。元気に成長していく子供は少なかったからです。日本が今のように死亡率が低くなったのは、昭和40年8月18日に施行された母子保健法ができてからです。それからほどなくして母子手帳の交付が各市町村で行われるようになりました。これは妊娠10週に入りますと市町村からもらえます。妊娠中、出産後、乳幼児から小学校に入学するまでの健康状態を全てチェック出来るようになっていきました。小学校に入りますと学校保険法に移行します。これ以降、日本の母子の死亡率は低くなっていきました。このことが世界的に有名になり、発展途上国などから引き合いがあり、その国も日本を見ならって母子手帳を交付するようになってから死亡率が下がったと言われております。ロータリーの友やテレビでも取り上げられました。本日は月間にちなんで母子の健康のお話しをさせていただきました。会長挨拶とさせていただきます。

## 次年度会長 鈴木政成君 「次年度会長方針」



2021-22年度瀬戸ロータリークラブ第62期の会長をこの7月から務めさせていただきます。皆さん一年間どうぞ宜しくお願いいたします。

瀬戸ロータリークラブは皆さんご存じの通り昭和34年8月26日に産声をあげた歴史と伝統あるクラブですが、私にとってその魅力は大きく二つあります。一つ目は幅広い年齢層の会員がいらっしゃる事です。今は40代～80代ですが、時には30代～90代までの方々と共にお話ができる。このような会は他には見当たりません。二つ目は職業においてそれぞれの分野で瀬戸を代表する企業や立場の方々と知り合いになれる事です。年齢的にも職業的にも多様な方々が奉仕の理念で結ばれ、寛容な心で共に友情を深め合える、そんな魅力あるロータリーですが、昨年春からの新型コロナウイルス感染拡大によって私たちの日常は激変しました。瀬戸ロータリークラブも休会やWEB例会を余儀なくされ、ロータリークラブ最大の魅力である集う事もままならない状況が続いてきました。先が見通せないウィズコロナの状況下において、感染防止に気を緩める事なく創立62年目の瀬戸ロータリークラブの事業を進めて参りたいと思います。

2021-22年度国際ロータリーのシェカール・メータ会長はテーマにSERVE TO CHANGE LIVES「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を掲げられ、人のために生き、世話をし、奉仕する事で誰かの人生を豊かにすることは最高の生き方だと述べられています。

また2021-22年度第2760地区の沓名俊裕ガバナーは地区方針として「チェンジロータリー 新時

代の成長に」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～を掲げられ、これからの新しい時代を生き抜くために残すべきものは残し、変えるべきものは変える勇気が必要な時であると述べられています。

以上のRI会長、地区ガバナーの方針を踏まえ、下記のテーマに基づき本年度の活動を展開して参りたいと思います。

- ①魅力あるロータリーは魅力ある例会から  
ロータリーの基本である例会をより魅力あるものにするため卓話などの充実をはかり、共に集う喜びを実感できる場作りをする。
- ②会員の交流を深め親睦の輪を広げる  
ロータリアン同士が共に語り合い共に学び合う中から親睦を深めると共に  
会員相互の融和と連帯をはかる。
- ③会員ひとりひとりが取り組む職業奉仕  
ロータリアンひとりひとりが自分の職業を通じて周りの人に良い影響を  
与えられるような奉仕活動の実践につとめる。
- ④瀬戸ロータリークラブの明日を戦略的に考える。  
ロータリーは基本単年度制であるが対外的な事業の方向性や戦略を  
中長期的な展望に立ち検討する。

歴史と伝統のある瀬戸ロータリークラブにおいてもこのコロナ禍でオンラインによる例会が行なわれるようになりました。オンラインの良い点も色々認識できた反面、リアルに顔を合わせ語り合う事の価値も改めて認識できたように思います。本年度もまだしばらくは感染状況を見ながら一進一退の運営を強いられるかと思いますが、会員が集う事の喜びや価値を感じられる魅力あるロータリーを共に作っていきたく思います。是非とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。